



春の井の頭公園

今号の紙面から

- 2 平成16年度予算が成立
- 3 組織改正を行いました
- 4 軽自動車税のコンビ二収納を開始します
- 5 市営大沢住宅が完成
- 6・7 チアダンス参加者募集
- 8 農業公園がオープンしました
- 9 三鷹市高齢者憲章が制定
- 10 乳がん検診
- 11 武蔵野の水車経営農家公開事業が都知事賞を受賞

三鷹市広報番組

みる・みる・三鷹

武蔵野三鷹ケーブルテレビ5CH  
1日4回放送9:30/14:30/19:30/23:30

●第187回(4月4日~17日放送)  
清原慶子市長に聞く 新年度の施政方針

三鷹市市政情報番組

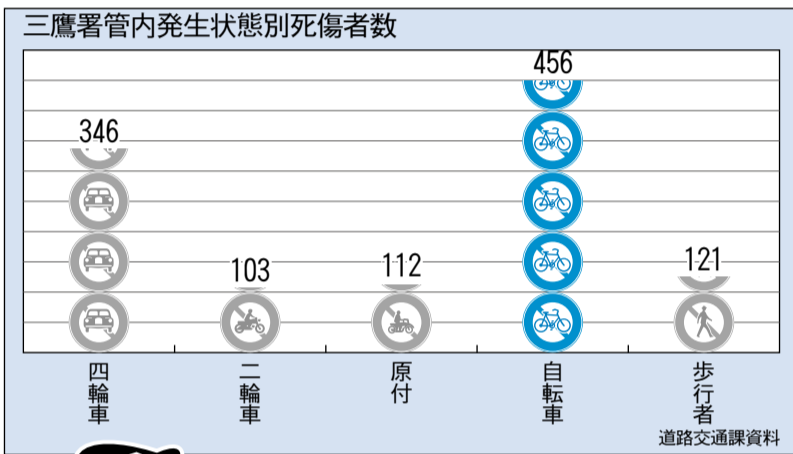
おはよう!三鷹市です

FMむさしの78.2MHz  
月~金曜日10:20~25放送

次年度、駐輪場優先登録の特典つき!

『自転車安全運転証』を交付します

4月1日「自転車の安全利用に関する条例」が施行されました



市内の交通事故のうち、自転車の関係する事故が全体の40%を超えています。こうした状況を受け、4月1日に「三鷹市自転車の安全利用に関する条例」が施行されました。

この条例は、交通事故の減少のため、自転車利用者が「自転車安全運転証」を所持することにより、安全運転の意識とルールを自覚し、マナー向上を図ることを目的としています。

また、条例に基づいた「自転車安全講習会」を概ね毎月1回、三鷹警察署と共同で開催し、これを受講した方に「自転車安全運転証」を交付します。

この「自転車安全運転証」を所持し、

駅前公共駐輪場の利用を希望する方は、平成17年度募集分から優先的に登録することができるようになります。

◆自転車安全運転証  
プラスチック製で顔写真も入れられる「運転免許証」のようなものです。これを所持することで一人ひとりが自転車の安全運転意識の向上や事故防止に努めていただくことを目的として、三鷹市が独自に発行するものです。

なお、自転車安全運転証に顔写真を入れることをご希望される方は、タテ3×ヨコ2.5cmの写真を自転車安全講習会の当日にご持参ください。

◆自転車安全講習会



市内交通事故死傷者の4割が自転車関連  
自転車も安全運転の意識と交通マナーを



三鷹市自転車安全運転証

氏名	三鷹花子	平成〇年〇月〇日生
住所	三鷹市野崎1-1-1	
番号	第123456789号	
交付月日	平成〇年〇月〇日	
有効期限	平成〇年〇月〇日	
三鷹市		

Poki  
※写真も可

安全宣言<私は次のことを守ります。>

- 無灯火運転はしません。
- 携帯電話を掛けながら、運転はしません。
- 歩道ではスピードを出さず、歩行者を優先します。
- 信号や一時停止を守ります。
- 放置自転車はせず、決められた場所に止めます。

講習日	平成 年 月 日
講習日	平成 年 月 日
備考欄※	本人が記載する欄

◇対象 ①小学3年生以上の市民、②三鷹駅南口周辺公共駐輪場を利用しようとする方、③そのほか市長が特に認めた方

◇内容 ①一般向け(概ね毎月1回(原則土・日曜日)、三鷹産業プラザで1時間30分程度。交通安全映画の上映、警察官による講話、簡単な〇×式テストを実施します。定員各200人程度。)

②小学生向け(従来から実施している各小学校における自転車教室に、簡単な〇×式テストを加えて実施します。)

↓道路交通課内線2883

第1回  
自転車安全講習会を実施

交通安全映画の上映、警察官による講話、〇×式テストを実施します。

▽4月10日(土)午前10時~11時30分(受付は9時30分から)、三鷹産業プラザで、住所・氏名の分かるものを必ず持参。定員200人(定員を超えた場合は、受講できない場合があります)。

第4回市長と語り合ひ会  
「安全と安心のまちづくり」参加者募集

◆対象 青少年対策地区委員会委員、交通安全対策地区委員会委員、町会役員の方

▽4月20日(火)午後7時~9時、市役所3階市長公室で。

▽4月12日(月)(必着)までに、はがきまたはEメールに「市長と語り合ひ会参加希望」・①住所・②氏名(ふりがな)・③年齢・④性別・⑤電話番号・⑥メールアドレス・⑦所属・⑧語り合ひたい内容を記入し「〒181-8555三鷹市役所秘書広報課秘書係」宛に送付してください。

◆報告書係「Eメール: info@city.mitaka.tokyo.jpへ申し込む。定員12人(定員を超えた場合は抽選)。

◆希望者の方には、「市長と語り合ひ会」の抽選結果を、抽選結果を身近に感じるようになったという声が多く、大変満足して頂いているようでした。

16年度は、赤ちゃんから大人まで絵本に親しんでもらえる「絵本館」のあり方について調査研究を開始する予算も計上しました。

「はじめての絵本」が赤ちゃんの絵や文字、物語との出会いとなり、家族の会話や想像力の芽をさらに生み出すことを願っています。

「はじめての絵本」との出会い



三鷹市長 清原 慶子

皆さんは、幼い頃、初めて読んだ絵本のことを覚えていますか。私は、かぐや姫や白雪姫のお話ですぐ頭に浮かびます。それに若い頃地域文庫を手伝っていた経験から、「くもりぐら」や「おぼけのパーパパー」などの絵本もよく覚えていました。

絵本は、自分が幼かった頃や子どもの成長を振り返るとき、家族が読んでくれた風景や、幼稚園や保育園での思い出とともに、欠かせない大切なもののひとつです。ところで、今の社会では、誕生した赤ちゃんたちは、ただちに、テレビやコンピュータ、携帯電話、テレビゲームのある環境におかれてしまいます。

けれども、私は、どんなにIT社会になったとしても、いやIT社会だからこそ、幼い頃に絵本と出会い、家族や、身近な人に読んでもらったり、自分ではばらばらとページをめくったりしながら、想像力をめぐる楽しさは、かけがえのないものであると思います。そうした考えから、平成15年度の新規事業として、生後3、4カ月の時の健診の際に、赤ちゃんに絵本を贈呈する「はじめての絵本(ブックスタート)」事業を開始しました。3月末の健診の際には、直接保護者の方々の声も聞かせていただきました。これまでのアンケート結果と同様に、絵本を身近に感じるようになったという声が多く、大変満足して頂いているようでした。

16年度は、赤ちゃんから大人まで絵本に親しんでもらえる「絵本館」のあり方について調査研究を開始する予算も計上しました。

「はじめての絵本」が赤ちゃんの絵や文字、物語との出会いとなり、家族の会話や想像力の芽をさらに生み出すことを願っています。